



あすい



第 14 号

佐倉市臼井地区社会福祉協議会 発行者 左奈田雄一 編集 広報事業部

秋の味覚～いもほりとゲーム～



11 月 3 日(火)文化の日、臼井地区社協児童福祉事業部では、恒例となった「親子いもほり会」を佐倉聖隷病院裏の畑で催しました。

当日はお天気にも恵まれた一日、総勢 211 名(大人 107 名、子ども 104 名)の方が参加されました。

まずは地区社協副会長の挨拶、その後、スタッフで皆さんを畑に案内し、合図と共に一斉にいもほりを開始しました。掘り終わった人は、収穫した「いも」を重そうに抱え、元気よく戻って来ました。



休む間もなく今度は「ビンゴゲーム」が行われ、ビンゴした小学生が「やった！！」と景品をゲット。ビンゴしなかった子どもにもお菓子の詰め合わせが配られ、おみやげがいっぱい！

いもほりとゲーム終了後、皆さんに感想をお聞きしたところ

「いもと景品がもらえて嬉しかった」(小学生)

「毎年ありがとうございます。いもほりとゲームで楽しかったです。長く続けてください」(母親)

「主催の方は大変でしょうが、みなさん楽しそうでしたよ」(高齢者)

地域の皆さんがいもほり会を通じて交流が図れた楽しい一日でした。今後も様々な内容で交流を広めていきたいと考えております。

また、いもほり会に際し、耕作地のいも畑を提供いただいた臼井田の塚本様にお礼申し上げます。

(児童福祉事業部 江幡)



老幼の館まつりに協力

11 月 1 日(日)には老幼の館で「老幼まつり」が開催され、昔の遊びをはじめとする、いろいろなイベントが行われました。

当日の参加人数は 382 名で、児童福祉事業部では模擬店でのお餅つきと三色お餅(海苔・きな粉・あんこ)の販売に協力いたしました。

(児童福祉事業部 江幡)



臼井・千代田地域包括支援センター訪問

地域の高齢者の皆さんの力に

今年4月、「臼井・千代田地域包括支援センター」が開設されました。すでに佐倉市の広報で紹介されていますが、皆さんはセンターの活動内容をご存知ですか？

今回広報部会でも、もう少し具体的な活動内容を聞いてみたいとの思いで、10月7日に地域包括支援センターを訪問しました。そこでセンター管理者の千羽さんから伺った内容を、今回からシリーズとして掲載します。

まず第1回は「地域包括支援センター」の主な業務についてご紹介します。

1. いろいろな相談に応じます。

日常生活で困ったことがあった時には、窓口、電話での相談を受けます。

また来所できない場合には、自宅訪問も可能です。

介護の相談だけでなく、高齢者の方やその家族が抱えるさまざまな悩みや相談に応じ、アドバイスをします。

「どこに相談していいかわからない」「どんなサービスを利用したらいいか教えて欲しい」「介護保険の使い方は？」「介護保険を受けていないけれど、利用できるサービスはありますか？」「ボランティアさんを紹介して欲しい」「遠くに住んでいる両親を呼び寄せ、一緒に生活したいのだけれど……」など、困ったときには気軽に相談できます。

高齢者の方や家族からの相談内容によっては、地域の民生委員さんを始めとする福祉関係者や医療機関との連携を行う事もあります。その場合は個人情報保護や守秘義務の問題もあるので、相談者の承諾を得て行っています。

2. 介護予防のお手伝いをします。

高齢者が地域で元気に過ごせる事が目的なので、介護支援だけでなく介護予防にも力を入れています。

市の健診結果などから、今の状態が続くと介護や支援が必要になると判断された高齢者の方へは、介護予防の計画を作成し、市主催の「お達者教室」や「頭すっきり若返り教室」につなげます。

また、お元気な高齢者の方へは、「とすとらん塾」を開催したり、各地域の町会・高齢者クラブなどを訪問し、「出前講座」や「健康相談」なども行っています。

3. みなさんの権利を守ります。

金銭の管理や契約に不安があり、頼れる家族がいない高齢者の方に対しては、「成年後見制度」の紹介をしています。

「権利擁護 成年後見」の特別相談は、毎月第2水曜日の午前10時～午後3時に行っていますので、ご利用下さい。

4. こんな支援も行っています。

より暮らしやすい地域を目指して、医療機関を含め、さまざまな関係機関とのネットワーク作りを進めています。

センターには、主任ケアマネジャー・保健師・社会福祉士の専門職が皆さんのさまざまな面での相談に対応してくれます。高齢者の方やその家族にとっては大変頼りになる所のように思いました。

自分自身や家族に何か困ったことが起きたら、悩まないで遠慮なく「地域包括支援センター」に、まず相談してみてもいいかですか。

和菓子製造販売

赤飯 柏餅 桜餅 祝三ツ目 注文承ります

(有) 太田堂

佐倉市臼井35 487-3020

開局明治5年



臼井郵便局

佐倉市臼井30

437-3001

★ 臼井地区社協活動報告★

今年の臼井地区社協の活動は、新型インフルエンザの影響でかなり縮小されてしまいました。

特に高齢の方を対象とした「敬老のつどい」「ひとり暮らしの高齢者昼食会（いこいの会）」「100円喫茶サロン」は年内中止になっています。

そこで、それ以外の支援活動など、例年通り行われた活動を紹介いたします。

まずは8月22日(土)に行われた「臼井ふるさとにぎわい祭」です。今年も「キャラメル味のポップコーン」と「光るおもちゃ」の販売で参加しました。特に「光るおもちゃ」は好評で、最後には展示用に用意したおもちゃまで売り切れてしまいました。

10月17日(土)には、「オリオン祭り10周年」、10月24日(土)「収穫祭(三世代交流会・八幡台)」の支援を行いました。

また今年の「赤い羽根共同募金活動」は、11月10日(火)に、臼井西中学校と合同で行いました。

子どもたちは自分たちで考えたキャッチフレーズや手作りの人形を持ち、臼井駅、ジャスコ前など6箇所募金活動をしました。

臼井ふるさとにぎわい祭



赤い羽根共同募金活動



オリオンまつり支援



収穫祭三世代交流支援(八幡台)



ジャスコ・イエローレシートキャンペーン報告とお願い

ジャスコで毎月11日にお買い物をすると、黄色いレシートが発行されるのをご存じですか？



ジャスコでは、地域への社会貢献活動の一環として、毎月の「イオンデー」に黄色いレシートを発行しています。このレシートを登録団体の専用の投函ボックスに入れていただくと、レシート金額の1%が物品でその団体に寄贈されます。

21年度前期分は9月11日に締め切れ、1,795,255円(前回は1,976,504円)分のレシートをご投函頂いた結果、18,000円分の商品を受け取ることが出来ました。

いつもは100円喫茶サロンで使用するものをいただきますが、インフルエンザ流行の影響で年内のサロンが中止になったため、今回は1面でも紹介しました「親子いもほり会」で配ったお菓子等をいただきました。ご協力ありがとうございました。



*次回は22年3月11日締切で集計され、4月頃贈呈式があります。

いろいろな団体がありますが、ぜひ「臼井地区社会福祉協議会」と書かれた箱へ黄色いレシートをご投函ください！ ご協力をお願いします。

フリーダイヤル 0120-08-3019

美味しい自家精米を
ご家庭にお届けする

本店 487-3019
王子台店 461-1150



呉服・洋品・学生用品

ヤマトヤ

佐倉市稲荷台1-2-20

487-3016

福祉委員研修 千葉県千葉盲学校訪問

障がい是不自由だが不幸ではない！

11月6日(金)千葉県四街道市大日の視覚障がい者特別支援学校である千葉県立盲学校(田中直三校長)を福祉委員15名で見学しました。同校は臼井駅から車で17分位の近い場所にあります。

目の病気や糖尿病等の疾患の他、事故などのために目が見えなくなってしまうたり、見づらくなってしまったりした人たちのことを「視覚障がい者」と言いますが、そのような方々のための学校です。

小学校に入学する前の3歳の子どもたちから、60歳を超える大人の人たちまで126人が通学又は寄宿生活で学んでいます。

幼稚園・小学校・中学校・高等学校そしてマッサージや鍼灸(ひんきゅう)の資格を取るため勉強に励んでいます。先生方は囑託含め133人が働いています。

盲学校での勉強は、健常者の学校と同じように国語、算数、数学、理科、社会、体育、音楽、図工、美術などの教科を学ぶと共に、自立活動といって自分が不自由なためにできないことを工夫してできるようにする。勉強もしています。それは点字の勉強だったり、白杖を使って歩く勉強だったり、弱視(じやくし)レンズを使ってものを見る勉強だったりします。また、視覚の障がいだけでなく、他の障がいをあわせもった児童や生徒も大勢いて、一人一人にあった勉強をしています。

案内してくれた福原教頭先生によれば、盲学校というと暗いイメージがあるようですが、決してそのようなことはなく、自立するために頑張っています。みなさん元気です。ひとりひとり自分にあった勉強をしてスポーツに励み、学校生活を楽しくしているとのことでした。



あのヘレンケラー(女史)は障がいは不自由だが不幸ではない。と言われました。障がい者を同情で見ないでください。たまたま目が見えないだけなのです。盲学校といっても決して特別なことはないのです。と話されていました。見学して感じたことは、目に障がいがあっても本人の努力と適切なサポートがあれば健常者と全く変わらない生活を営むことが出来ることを強く感じました。

研修事業部 宇田川

平成21年度

福祉功労者表彰

この表彰は、社協の福祉活動において、功労著しい個人・団体・優秀な地区に対し市社協会長が行うものです。

本年度臼井地区社協からの推薦では、「踊り」を通して福祉活動を積極的に行っている、臼井台の市原園さんが表彰されることになりました。その他、福祉委員で表彰される方は左記の通りです。(敬称略)

- 【福祉活動功績者】
- 市原 園 (5年以上)
- 近藤熊吉 (個人20年)
- 【会長表彰】(8年以上)
- 岡野 敦・左奈田雄一
- 丹伊田利男・若本 伸

編集後記

このように病院はいいも増して人が溢れている。先日、熱を出した子どもを、とある病院に連れて行った友人が憤慨していた。長時間待たされたのは仕方ないが、医者はよく話も聞かないばかりか、患者の多さを愚痴るだけだったというのだ。

不安を抱えて病院に行ったのに、頼りになるはずの医者がそれでは余計不安が増すばかりである。

抱える不安といえば、病気だけではなく、地域包括支援センターは文字通り高齢者が抱える不安や疑問を取り除いてくれる場所である。専門職の方々は、きちんと話を聞いてくれるので、こちらが安心して気軽に立ち寄って欲しい。

結局、人と接するとき大切なことは、どんな職業でも同じ。きちんと相手の話を聞くことである。簡単そうに見えて、しかしこれらは意外と難しいことでもある。

ご意見はうすいセンターまで

「うすいセンター」(臼井・王子台・臼井東地区社協合同事務所) 臼井地区社協担当日は 毎週月曜日・木曜日 開館時間: 午前9時半～午後4時半 (12時～1時は昼休憩です) 住所: 佐倉市王子台1-23 レイクピアウスイ3階 電話: 043(462)0743 メールアドレス: center-usui@catv296.ne.jp ホームページ: http://www.catv296.ne.jp/~usui-syakyo/

洋服と寝具の店

手作り布団紬打直し・羽毛布団リフォーム承ります

(株) ツミタ

佐倉市稲荷台1-11-6

487-3002 / 3022

技術と信用の店

家電品販売・修理(電話でお気軽に御相談)

塚本電化サービス

佐倉市臼井田1071

/FAX 487-3256